経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県　尼崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員 学術・研究機関出身
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m^{3}当たり家庭料金(円)**	
-	65.23	100.00	2,552	

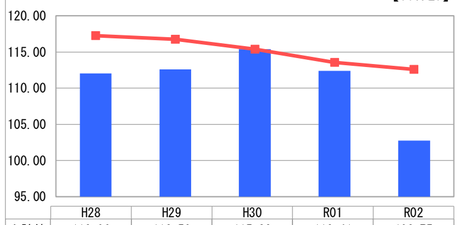
人口（人）	面積(km^2)	人口密度(人/km^2)
462,820	50.72	9,125.00
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km^2)**	**給水人口密度(人/km^2)**
461,988	50.72	9,108.60

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

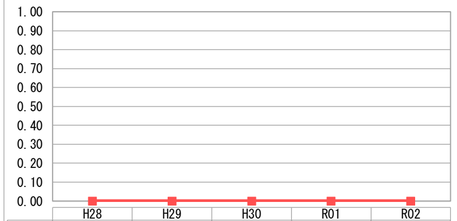
【110.27】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	112.06	112.59	115.38	112.41	102.75
平均値	117.25	116.77	115.41	113.57	112.59

②累積欠損金比率(%)

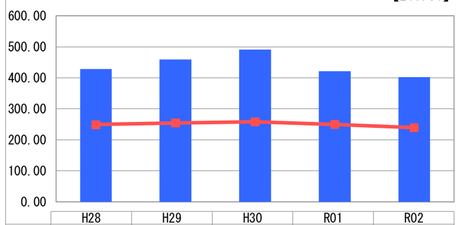
【1.15】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③流動比率(%)

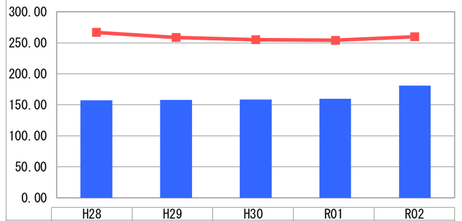
【260.31】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	428.15	459.74	491.47	421.19	402.54
平均値	249.08	254.05	258.22	250.03	239.45

④企業債残高対給水収益比率(%)

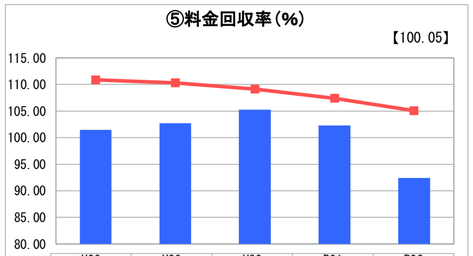
【275.67】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	157.49	157.93	158.58	159.61	181.11
平均値	266.66	258.63	255.12	254.19	259.56

⑤料金回収率(%)

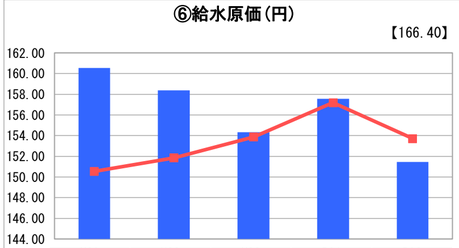
【100.05】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	101.47	102.70	105.26	102.32	92.44
平均値	110.87	110.30	109.12	107.42	105.07

⑥給水原価(円)

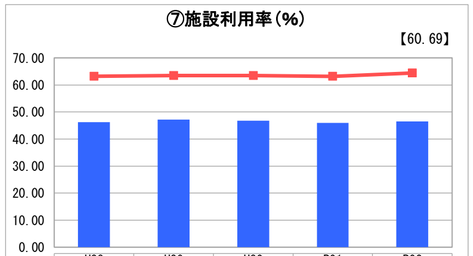
【166.40】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	160.53	158.37	154.31	157.56	151.45
平均値	150.54	151.85	153.88	157.19	153.71

⑦施設利用率(%)

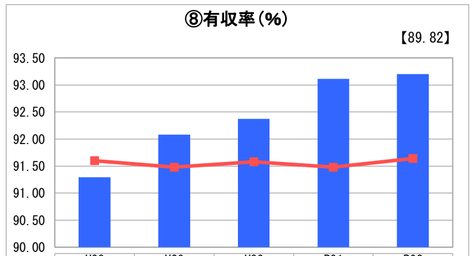
【60.69】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	46.23	47.23	46.75	45.92	46.51
平均値	63.18	63.54	63.53	63.16	64.41

⑧有収率(%)

【89.82】

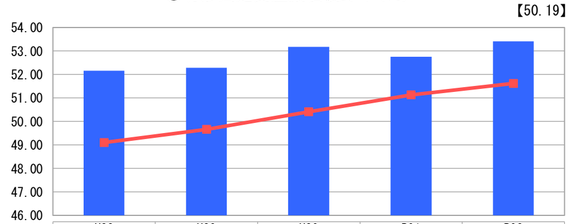


	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	91.29	92.08	92.37	93.11	93.20
平均値	91.60	91.48	91.58	91.48	91.64

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

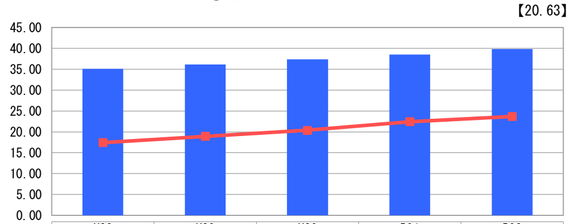
【50.19】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	52.16	52.29	53.17	52.76	53.41
平均値	49.10	49.66	50.41	51.13	51.62

②管路経年化率(%)

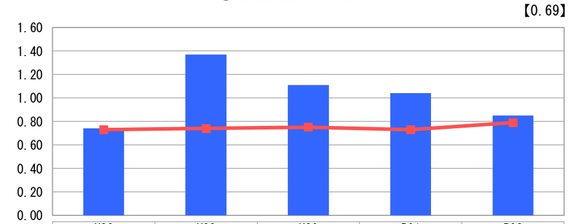
【20.63】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	35.08	36.17	37.41	38.53	39.87
平均値	17.42	18.94	20.36	22.41	23.68

③管路更新率(%)

【0.69】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	0.74	1.37	1.11	1.04	0.85
平均値	0.73	0.74	0.75	0.73	0.79

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似団体と比較すると若干低い値が続いていますが、各年度100%を超え、単年度収支も黒字を維持しています。また、②累積欠損金比率は各年度0%であり、累積欠損金が発生していないこと、③流動比率は類似団体と比較して良好な状況であり、十分な支払能力を有していることから、財政的には安定した状況を維持できていることが読み取れます。

④企業債残高対給水収益比率は類似団体と比して良好な状況です。

⑥給水原価は類似団体と同等か若干上回る傾向を示しており、その影響で、⑤料金回収率は類似団体と比して低い水準となっていますが、回収率は令和2年度を除き各年度100%を超え、給水に係る費用は給水収益で賄えている状況です。

⑦施設利用率は類似団体と比較して低い水準であり、人口減少や節水機器の普及に伴う水需要の減少により、経年的には緩やかな減少傾向となっていることから、施設能力としても大きな余裕があり、むしろ過大な状況となっています。

⑧有収率は近年では上昇傾向にあり、全国平均値より高い水準にあります。

①⑤⑥について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた水道料金の減免を、経営に影響のない範囲内で実施しており、例年と比して、給水収益の減少もあり、その影響を受けている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率や②管路経年化率は類似団体と比して比較的高い水準で、経年的にも増加傾向です。これは高度経済成長期に整備した施設が法定耐用年数を迎えていることと、実際の耐用年数を見極めたうえで更新していることも要因となっています。

③管路更新率は、年度による多少の増減はあるものの類似団体と比して比較的高い水準を維持しています。

また、配水管を実際の耐用年数を見極め、40年先を見据えたライフサイクルコストの考え方を用いて更新費用を平準化した結果、この更新ペースを維持していくことで、40年先には漏水の危険性が高い老朽管を増やすことなく、高度経済成長期の配水管は更新を完了することができる見込みとなっています。

全体総括

現在までは比較的健全な経営状況を維持できていますが、給水収益の減少は今後も続くと見込まれ、また、施設においては更新時期の到来や災害に対する備えの確保を行っていく必要があり、厳しい経営環境になっていくと考えられます。

このような状況を踏まえ、本市では事業運営の指針である新たなビジョン、「あますいビジョン2029」（2020～2029年）を策定しました。当該ビジョンでは、40年先の将来を見据えた施設のあり方を考慮し、持続可能な水道を目指したものとなっています。

今後は当該ビジョンを事業運営の指針として、事業規模が縮小していくなかにおいても、水道事業を安定的に運営できるよう、施設や配水システムの再構築に取り組んでいきます。

経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

兵庫県　尼崎市

【事業概要】

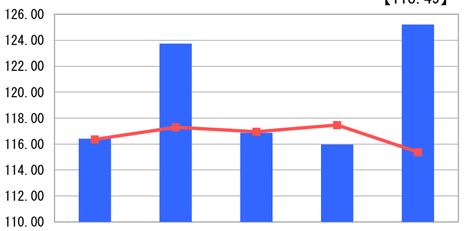
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m³/日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m³)
法適用	工業用水道事業	170,000	中規模	1	57,788
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**給水先事業所数**	**契約水量(m³/日)**	**管理者の情報**	
-	91.6	52	131,763	自治体職員	

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【118.49】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	116.43	123.73	116.86	115.96	125.22
平均値	116.37	117.28	116.96	117.47	115.38

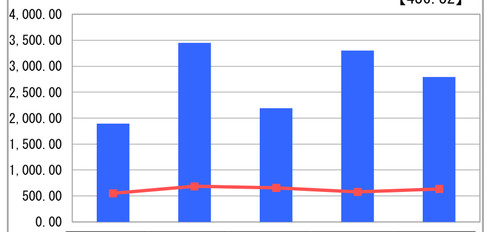
②累積欠損金比率(%)

【19.58】

	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	52.25	53.30	50.25	51.91	53.86

③流動比率(%)

【436.32】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	1,895.70	3,451.93	2,193.32	3,299.21	2,788.35
平均値	551.43	687.99	655.75	578.19	638.35

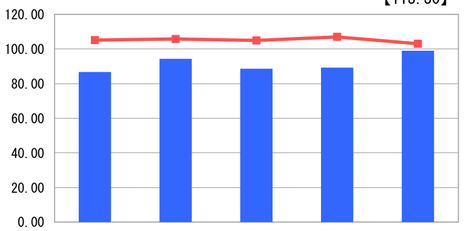
④企業債残高対給水収益比率(%)

【238.21】

	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	0.37	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	216.41	208.47	193.85	204.31	214.20

⑤料金回収率(%)

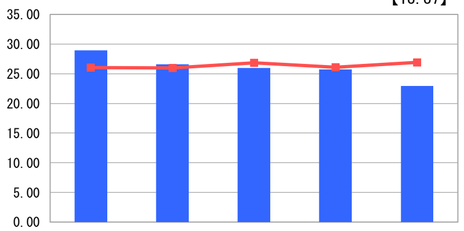
【113.30】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	86.71	94.33	88.66	89.26	99.13
平均値	105.24	105.71	105.06	106.98	103.06

⑥給水原価(円)

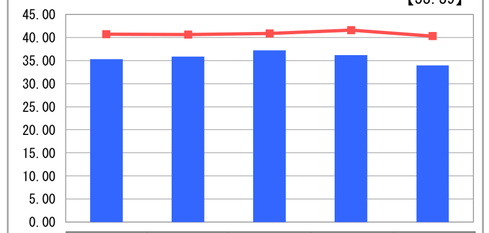
【18.87】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	28.92	26.60	25.95	25.71	22.95
平均値	26.03	25.98	26.84	26.08	26.92

⑦施設利用率(%)

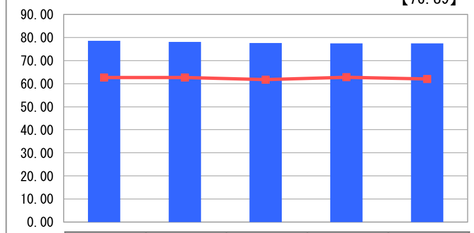
【53.39】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	35.33	35.90	37.23	36.15	33.99
平均値	40.69	40.67	40.89	41.59	40.29

⑧契約率(%)

【76.89】

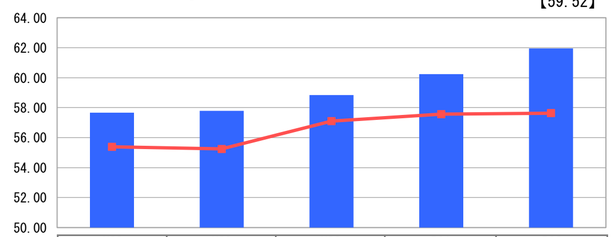


	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	78.52	78.01	77.54	77.51	77.51
平均値	62.70	62.59	61.76	62.75	61.99

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

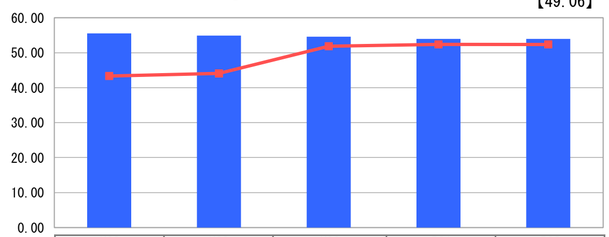
【59.52】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	57.67	57.78	58.83	60.24	61.96
平均値	55.39	55.25	57.11	57.57	57.63

②管路経年化率(%)

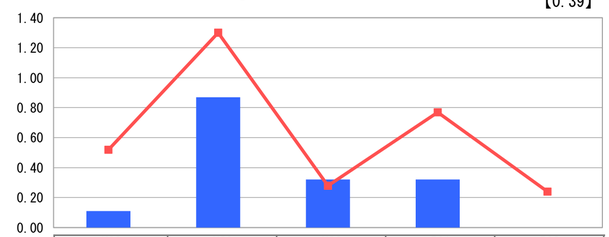
【49.06】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	55.56	54.91	54.59	53.95	53.95
平均値	43.33	44.05	51.87	52.33	52.35

③管路更新率(%)

【0.39】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	0.11	0.87	0.32	0.32	0.00
平均値	0.52	1.30	0.28	0.77	0.24

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似団体と同程度か若干高い値が続いており、各年度100%を超え、単年度収支も黒字を維持しています。また、②累積欠損金比率は各年度0%であり、累積欠損金が発生していないこと、③流動比率は類似団体と比較して良好な状況であり、十分な支払能力を有していることから、財政的には安定した状況を維持できていることが読み取れます。

④企業債残高対給水収益比率は0であり類似団体と比して良好な状況です。

⑦施設利用率は類似団体と比較して低い水準であり、ユーザー企業の廃止などの要因で施設能力との乖離が広がってきています。

⑧契約率は類似団体と比較すると高い値となっていますが、今後需要が増える見込みは低いため、施設能力の見直しなどが必要になってきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率や②管路経年化率は類似団体と比して比較的高い水準となっています。これは高度経済成長期に整備した施設が法定耐用年数を迎えているととと、実際の耐用年数を見極めたうえで更新していることも要因となっています。

③管路更新率については各年度で更新率にばらつきがありますが、②管路経年化率は減少していることから適切に更新を行えているといえます。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、次年度に工事を繰越したため、0%となっています。

全体総括

工業用水道事業は財政的に安定していますが、ユーザー企業の動向により、その状況は大きく変わるため、注意が必要です。

近年ではユーザー企業の廃止が続いている状況ですので、財政的に安定している間に必要な整備や取り組みを進め、工業用水道事業を将来においても持続させていくことが必要となってきます。

本市では水道事業と同様に40年先の将来を見据えた事業運営の指針である新たなビジョン、「あますいビジョン2029」（2020～2029年）を策定しました。

今後は当該ビジョンを事業運営の指針として、施設や配水システムの再構築に取り組んでいきます。